資料２－１添付資料

小児医療　ロジックモデル（案）

区分	番号	個別施策（アウトプット）
相談・予防	1	・夜間・休日の相談体制維持 ・家族からの相談対応
	2	・事故防止対策 ・急病への対応
	3	
一般小児医療	4	・一次救急、二次救急、三次救急の提供体制の維持 ・医療関連施設相互の連携体制の強化
	5	
高度小児医療	6	・医療関連施設相互の連携体制の強化 ・医師等の確保が困難な地域での対応
	7	
療養・療育支援	8	・療養・療育環境への移行支援 ・支援のための人材育成
	9	
	10	
有事の小児医療	11	・災害時小児周産期リエゾンの養成 ・新興感染症の発生・まん延時の体制検討 ・害医療体制の構築
	12	
	13	

番号	中間成果（中間アウトカム）		
1	住民が必要時に相談を受けられている		
	指標	・＃8000応答率	P
		・＃8000相談件数	P
		・＃8000を知っている人の割合	P
		・乳幼児健診受診率	P
2	適切な受療行動をとれている		
	指標	・乳幼児の緊急搬送の軽症率	P
		・夜間急患センターの利用件数	P
3	事故や病気に対する予防行動がとれている		
	指標	・不慮の事故による死亡率	o
		・小児の予防接種率	P
4	身近な地域で日常的な小児医療を受けられている		
	指標	・かかりつけ医を持っている人の割合	P
5	入院が必要な小児への医療提供にあたり医療機関の間での連携がとれている		
	指標	・地域連携クリティカルパス？を作成している小児医療機関数	P
6	24時間体制で小児救命救急医療を受けられている		
	指標	・搬送受入件数	P
7	一般小児医療機関で受け入れ困難な患者が、高度な小児医療等を受けられている		
	指標	・困難事例の受入件数	P
8	医療が必要な小児の早期発見・早期療育の推進につながっている		
	指標	乳幼児健診率	P
		長野県難聴児支援センター 相談件数	P
9	安心して在宅療養が受けられている		
	指標	・退院支援を受けたNICU,GCU児数	P
		（医療的ケア児への支援に関する指標）	
		（小児の家族へのレスパイトケアに関する指標）	
		（訪問診療、看護に関する指標）	
10	有事（災害時、新興感染症の発生・まん延時）を見据えた小児医療体制ができている		
	指標	・県防災訓練実施回数	P
		・災害時小児周産期リエゾン受講者数	P

番号	目指す姿（最終アウトカム）	
1	適切な小児医療により、小児やその家族が安心して暮らすことができる	
	指標	・乳幼児死亡率
		・小児死亡率
		・小児を持つ親の満足度
		・この地域で子育てをしたいと思う親の割合